

HSBC アジア・クオリティ 株式オープン

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第8期（決算日 2018年3月19日）

作成対象期間

（2017年3月18日～2018年3月19日）

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC アジア・クオリティ株式オープン」は2018年3月19日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド」への投資を通じて、主に日本を除くアジア諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第8期末（2018年3月19日）	
基準価額	15,570円
純資産総額	753百万円
第8期	
騰落率	+11.5%
分配金	350円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP左上の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。

※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

HSBC投信株式会社

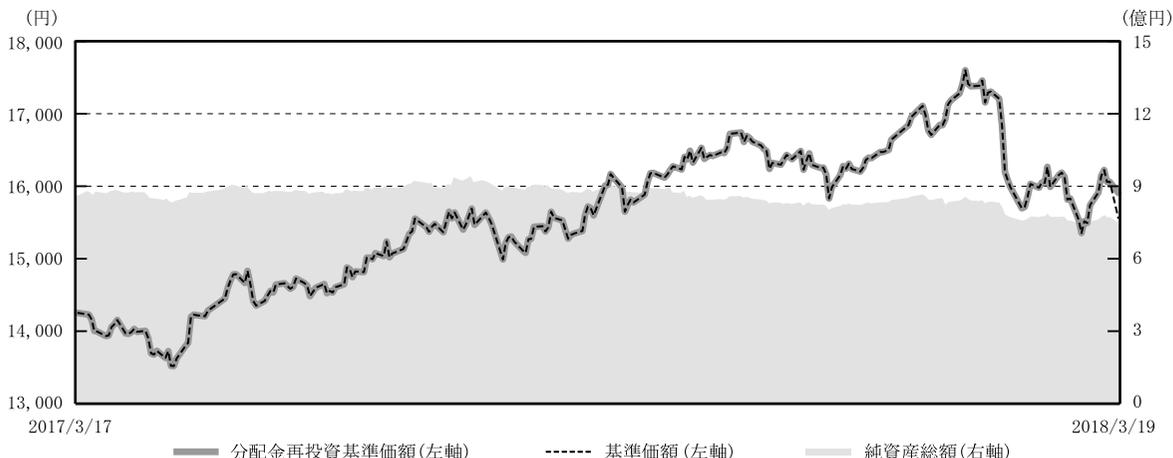
東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
《お問い合わせ先（クライアントサービス本部）》
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

HSBC 
Global Asset Management

◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第8期：2017年3月18日～2018年3月19日)



【基準価額・騰落率】

第8期首：14,275円

第8期末：15,570円（既払分配金（税込み）：350円）

騰落率：+11.5%（分配金再投資ベース）

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、期首（2017年3月17日）の値を基準価額と同一になるよう指数化しております。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

当期を通じて組入上位に維持したソフトウェア・サービスの騰訊控股（TENCENT、中国）、半導体・半導体製造装置業界で半導体受託生産大手の台湾積体電路製造（TAIWAN SEMICONDUCTOR、台湾）および同業界で総合家電・電子部品メーカーのサムスン電子（SAMSUNG ELECTRONICS、韓国）などの株価が上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

香港ドル、インドルピーなどの対円での下落が、基準価額にマイナスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	2017/3/18～2018/3/19		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 306	% 1.955	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(175)	(1.118)	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	(121)	(0.771)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(10)	(0.065)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	15	0.093	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(14)	(0.089)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(1)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	8	0.051	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(8)	(0.048)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	94	0.603	(d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(74)	(0.475)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監査費用）	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(19)	(0.118)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	423	2.702	
期中の平均基準価額は、15,657円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b) 売買委託手数料」、「(c) 有価証券取引税」および「(d) その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

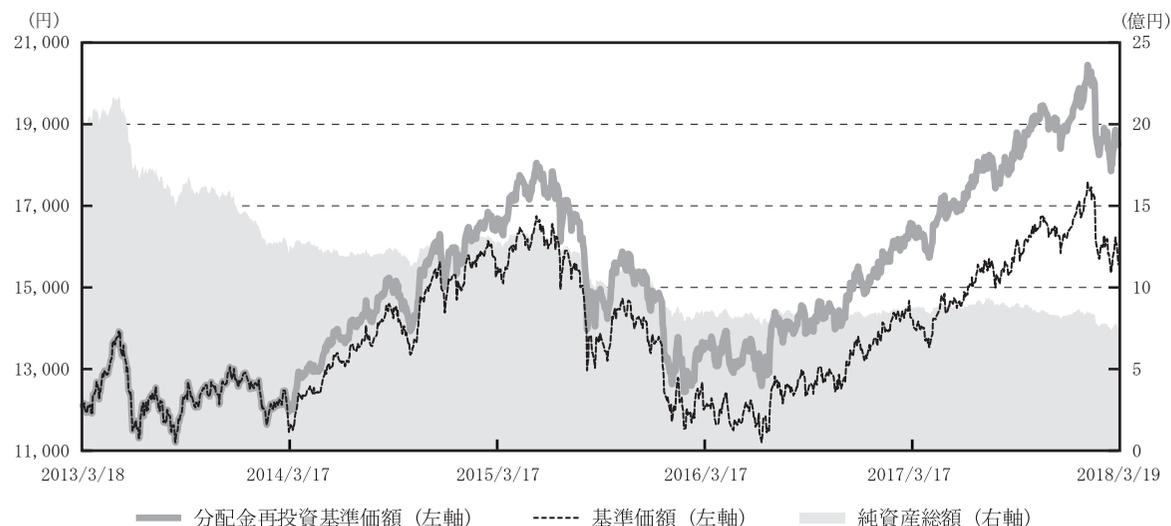
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注5) 「(d) その他費用」の「(その他)」には、支払い外国税（1万口当たり12円）が含まれます。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2013年3月18日～2018年3月19日)



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を再投資したものとして計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・分配金再投資基準価額は、2013年3月18日の値を基準価額と同一になるよう指数化しております。

	2013/3/18 決算日	2014/3/17 決算日	2015/3/17 決算日	2016/3/17 決算日	2017/3/17 決算日	2018/3/19 決算日
基準価額 (円)	12,119	11,470	15,266	12,027	14,275	15,570
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	500	500	500	500	350
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.2	37.5	△17.9	22.8	11.5
純資産総額 (百万円)	1,964	1,208	1,248	821	861	753

- ・分配金再投資基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資したものとして計算しております（小数点第2位以下四捨五入）。
- ・騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境について

【株式市況】

期初から2018年1月までのアジア株式市場は、堅調な企業収益や世界同時的な景気回復を背景に投資家のリスクオン・モードが続き、株価は全般的に上昇しました。2月から期末にかけては、米国の利上げペースの加速懸念に伴う世界的な市場ボラティリティの上昇がアジア株式市場にも影響し、軟調な展開となったものの、当期を通して見ると、アジア株式市場は期首比で上昇しました。

市場別には、香港上場の中国・香港株式は中国本土の投資家による株式相互取引（ストック・コネク）を通じた取引の活発化、韓国株式は大統領選挙における文（ムン）氏の当選により経済政策への期待が高まったことや地上配備型ミサイル迎撃システム（THAAD）配備を巡る中国政府との関係修復を背景に消費関連銘柄が上昇したこと、インドネシア株式は外貨準備高が過去最高水準に達したことや格付大手S&Pグローバル・レーティングおよびフィッチ・レーティングスによる格上げ、インド株式は地方選挙で国政与党・インド人民党（BJP）が大勝したことや「物品サービス税（GST）」の導入などが支援材料となり、各々、上昇しました。

【為替相場】

当期のアジア通貨は、概ね対円で下落しました。期初から2018年1月にかけては、全体的に一進一退の展開となったものの、その後、期末にかけて、世界的な市場ボラティリティの上昇に伴う投資家のリスク回避志向から円高が進行し、アジア通貨は円に対して概ね下落しました。

ポートフォリオについて

<HSBC アジア・クオリティ株式オープン>

主要投資対象である「HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド」を、期を通じて高位に組み入れました。

<HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド>

長期的なアジア株式に対する強気の見方を維持し、当ファンドが主たる投資対象とする「クオリティ株式」（高配当もしくは企業予測収益の安定性が期待される銘柄群）を中心に、アジア株式の組入比率を概ね96%～99%と高位に維持しました。国・地域別には、中国、香港、韓国、台湾、インドなどの銘柄の組入れを多めに維持しました。個別銘柄では、半導体・半導体製造装置業界で半導体受託生産大手の台湾積体電路製造（TAIWAN SEMICONDUCTOR、台湾）および同業界で総合家電・電子部品メーカーのサムスン電子（SAMSUNG ELECTRONICS、韓国）、ソフトウェア・サービスの騰訊控股（TENCENT、中国）、中国建設銀行（CHINA CONSTRUCTION BANK、中国）などの組入れを高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、350円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】 (単位：1万口当たり・税引前)

項目	第8期 (2017年3月18日 ～2018年3月19日)
当期分配金	350円
(対基準価額比率)	2.198%
当期の収益	350円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,570円

- ・「(対基準価額比率)」は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。
- ・「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

<HSBC アジア・クオリティ株式オープン>

引き続き、「HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド」を高位に組入れる方針です。

<HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド>

ポートフォリオの構築に際して、高配当や収益の安定性が見込まれ、バリュエーションに割安感があるアジア諸国・地域の銘柄を引き続き選好します。

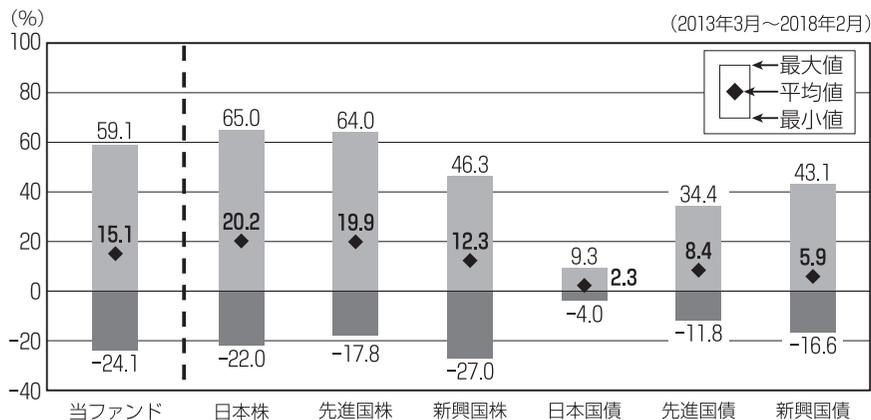
◆お知らせ◆

<約款変更のお知らせ> ありません。
 <その他のお知らせ> ありません。

◆当ファンドの概要◆

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に日本を除くアジア諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	HSBC アジア・クオリティ株式オープン	HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド	主に日本を除くアジア諸国の株式等を投資対象とします。
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（毎年3月17日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆



グラフは、当ファンドと他の代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的には比較できるように作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてが当ファンドの投資対象になるとは限りません。

- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

【各資産クラスの指数】

- 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI 国債
- 先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)
- 新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。
 ※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

◆当ファンドのデータ◆

(2018年3月19日現在)

当ファンドの組入資産の内容

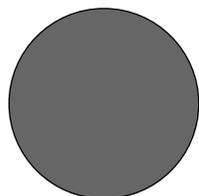
○組入ファンド等

(組入ファンド数：1)

	第8期末 2018年3月19日
HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド	103.4%

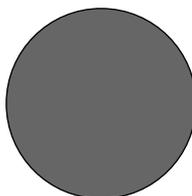
・組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

○資産別配分



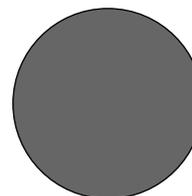
HSBC アジア・クオリティ
株式マザーファンド
103.4%

○国別配分



日本 103.4%

○通貨別配分



日本円 103.4%

・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。
・国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

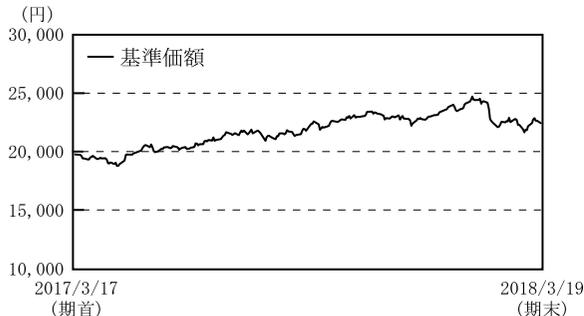
項目	第8期末 2018年3月19日
純資産総額	753,290,023円
受益権総口数	483,795,346口
1万口当たり基準価額	15,570円

(注) 期中における追加設定元本額は76,548,969円、一部解約元本額は196,295,938円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC アジア・クオリティ株式マザーファンド (計算期間 2017年3月18日～2018年3月19日)

○基準価額の推移

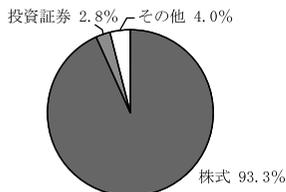


○1万口当たりの費用明細

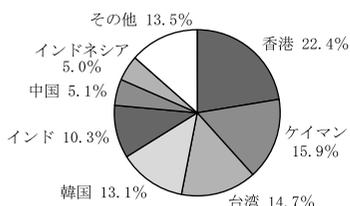
項目	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券)	20円 (19) (1)	0.093% (0.089) (0.004)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託証券)	11 (10) (1)	0.050 (0.048) (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (そ の 他)	126 (103) (22)	0.575 (0.473) (0.102)
合計	157	0.718

- ・1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。
- ・期中のマザーファンドの平均基準価額は21,858円です。
- ・各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- ・「(c)その他費用」の「(その他)」には、支払い外国税(1万口当たり17円)が含まれます。

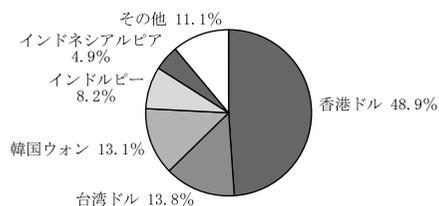
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- ・組入比率は、マザーファンドの直近決算日現在のものです。
- ・配分はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国別配分は、国・地域別による配分です。
- ・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

○組入上位銘柄

(組入銘柄数：28)

	銘柄名	投資国	業種	組入比率 (%)
1	台湾積体回路製造 (TAIWAN SEMICONDUCTOR)	台湾	半導体・半導体製造装置	5.5
2	騰訊控股 (TENCENT)	中国	ソフトウェア・サービス	5.2
3	サムスン電子 (SAMSUNG ELECTRONICS)	韓国	半導体・半導体製造装置	5.2
4	中国建設銀行 (CHINA CONSTRUCTION BANK)	中国	銀行	5.1
5	中国工商銀行 (INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA)	中国	銀行	5.1
6	中国銀行(香港) (BOC HONG KONG (HOLDINGS))	香港	銀行	4.6
7	金沙中国 (SANDS CHINA)	マカオ	消費者サービス	4.4
8	友邦保険 (AIA GROUP)	香港	保険	4.3
9	KB金融持株会社 (KB FINANCIAL GROUP)	韓国	銀行	4.2
10	中国海洋石油 (CNOOC Ltd)	中国	エネルギー	4.0

- ・組入上位銘柄はマザーファンドの直近決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。
- ・組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・銘柄名は、報道等の表記を参考にHSBC投信が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。
- ・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

◆指数に関して◆

＜「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について＞

▶東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

▶MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

▶MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

▶NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

▶シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

▶JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。